

SIP自動走行システムの取組概要

<実施体制>

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)

ガバニングボード

課題ごとに以下の体制を整備

PD(プログラムディレクター)
(内閣府に課題ごとに置く)



推進委員会
PD(議長)、担当有識者議員、
内閣府、関係省庁、外部専門家

関係省庁・研究主体

➤ SIP 自動走行システム (略称 : SIP-adus)
Cross-Ministerial Strategic Innovation Promotion Program
Innovation of Automated Driving for Universal Services

➤ 「自動走行システム」の研究開発

平成26年度 : 約 25 億円

平成27年度 : 約 23 億円

平成28年度 : 約 27 億円

平成29年度 : 約 33 億円

平成30年度 : 約 28 億円

[PD取りまとめの下、関係省庁(警察庁、総務省、経産省、
国交省)等が連携して推進]

「自動走行システム」プロジェクト

自動走行システム
推進委員会

委員長 : 葛巻 清吾 PD (トヨタ)
構成 : ITS関係省庁、自動車メーカー、
学識経験者、自動車関連団体
等が参加

大規模実証実験 TF

大規模実証実験の実施内容
等の検討

システム実用化WG

[I] 自動走行システムの開発・検証
[II] 交通事故死者低減・渋滞低減のための基礎技術の整備

国際連携WG

[III] 国際連携の構築

次世代都市交通WG

[IV] 次世代都市交通への展開

地図構造化TF

地図情報の高度化に関する
調査・検討

SIP自動走行システムの取組体制

